

科目名	リスニング&スピーキングI				
担当教員	タレント コーディ	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICアップに必要なリスニング&スピーキング力を身につけ、英会話のコミュニケーション能力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 570				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th edition Level 2				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	discuss what people do in your country for free time / 過去形 / 子供時代を表す名詞	リスニング、スピーキング、会話 P2~4			
2	ask the other students did you questions / used to (慣れている)	リスニング、スピーキング、子供時代の思い出 P5~7			
3	discuss Singapore's transport problems. How can you solve this? / 量の表し方	リスニング、スピーキング、自国の交通 P8~9			
4	discuss Singapore's transport problems. How can you solve this? / 量の表し方	リスニング、スピーキング、自国の交通 P10~11			
5	discuss tourism in your city how can it attract people for Tokyo 2020	リスニング、スピーキング、旅行者となってロールプレイ、P12~13			
6	discuss tourism in your city how can it attract people for Tokyo 2020	リスニング、スピーキング、旅行者となってロールプレイ、P14~15			
7	choose adjectives to describe famous places / 家の中の形容詞・評価と比較	リスニング、スピーキング、有名な場所を形容詞で表す、P16~18			
8	what changes would you like in your life? / wish (願い) の使い方	リスニング、スピーキング、人生をどのように変えたい、P19~20			
9	discuss questions about food / Have you ever~? (今まで~したことある?)・過去と過去完了	リスニング、スピーキング、食べ物 P22~23			
10	discuss interesting facts about the other students / 副詞 (First, Then, Next, After that, Finally)	リスニング、スピーキング、料理のレシピ P24~26			
11	discuss food experiences	リスニング、スピーキング、会話 P28~29			
12	discuss what you are going to do this weekend / 未来の表し方の違い : going to と will	リスニング、スピーキング、休暇 P30~32			
13	Practicing linked sounds with modals / 必要性 ( must, need to, have to ) と提案 ( 'd better, ought to, should )	リスニング、スピーキング P33~34			
14	complaints you have about your family and friends / 2種類の動詞	リスニング、スピーキング、家庭の雑用 P36~38			
15	think of five unusual requests and ask the other students / 謝罪の公式と非公式	リスニング、スピーキング P39~40			
16	discuss summer plans	リスニング、スピーキング、夏の予定について話し合う、P42~43			
17	describe how you use technology / 不定詞と動詞の使い方と目的	リスニング、スピーキング P45~46			
18	復習	前期復習 P2~23			
19	復習	前期復習 P24~46			
20	まとめ	前期まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%		リスニング力とスピーキング力の基礎を高めるために積極的に学ぶこと。リスニングで聞き取れるようになること。積極的に会話すること。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	幼稚園や英会話教室で5年以上教鞭を取る				

科目名	リスニング&スピーキングI				
担当教員	タレント コーディ	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICアップに必要なリスニング&スピーキング力を身につけ、英会話のコミュニケーション能力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 570				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th edition Level 2				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	give suggestions to other students / 命令文と不定詞	リスニング、スピーキング、技術に伴う問題点 P47~48			
2	discuss things you would buy someone for a special holiday / 祝日に関係のある名詞	リスニング、スピーキング、世界の祝日 P50~52			
3	discuss customs in other countries / 時間の相対節・副詞句	リスニング、スピーキング、結婚式 P53~55			
4	discuss customs in other countries / 時間の相対節・副詞句	リスニング、スピーキング、結婚式 P56~57			
5	how has your neighborhood changed / 時間	リスニング、スピーキング、抑揚の発音 P58~60			
6	discuss your future career / ifを使った文	リスニング、スピーキング P61~63			
7	talk about job skills for various jobs / 短い返答	リスニング、スピーキング、求職のための会話 P64~67			
8	discuss the interviews. Who would you hire? / becauseの句	リスニング、スピーキング、履歴書の準備 P68~70			
9	which places are interesting to you? / 受け身	リスニング、スピーキング、日本の象徴 P72~74			
10	which places are interesting to you? / 受け身	リスニング、スピーキング、日本の象徴 P75~76			
11	discuss lucky and unlucky events / 過去進行形と過去	リスニング、スピーキング、最近の出来事 P78~80			
12	tell the other students what you've been doing lately / 副詞の形成・現在完了進行形	リスニング、スピーキング、会話 P81~85			
13	discuss the movies you like / 分詞と形容詞	リスニング、スピーキング、好きな映画の比較 P86~89			
14	discuss the last movie you went to see in the cinema / 副詞	リスニング、スピーキング、日本の絵文字文化 P90~93			
15	students discuss where you would find these signs / 許可 ( can, allowed to)・義務 ( have to, have got to )・禁止 ( can't, not allowed	リスニング、スピーキング、ジェスチャーの感じ方 P94~97			
16	discuss times in your life when you were honest / 非現実的な条件付きのif	リスニング、スピーキング、人生の苦境 P100~104			
17	discuss what you would have done for the listening section / 動詞と名詞の組み合わせ	リスニング、スピーキング、電話で招待された受け入れ方、P106~109			
18	復習	後期復習 P47~70			
19	復習	後期復習 P72~109			
20	まとめ	総まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%		リスニング力とスピーキング力の基礎を高めるために積極的に学ぶこと。リスニングで聞き取れるようになること。積極的に会話すること。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	幼稚園や英会話教室で5年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	リーディングI				
担当教員	ペルベルシ マルタ	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEIC得点アップに必要なリーディング力、ライティング力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 570				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th edition Level 2 Writing for the Real World Level 1				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	書く 文字の種類	P4-5			
2	書く 文字の種類	P6-7			
3	紹介 自分の情報を書く	P8-11			
4	クラスメイトへメッセージを送る	P12-15			
5	項目に情報を書く	P16-17			
6	項目に情報を書く	P18-19			
7	感謝のメールを書く	P20-23			
8	情報を要求する ビジネスレターの整理	P24-27			
9	情報を要求する ビジネスレターの整理	P28-31			
10	復習	P32-35			
11	情報収集 質問に対しての返事をする	P36-39			
12	質問を答える 招待状を書く	P40-43			
13	日付と時間	P44-45			
14	日付と時間	P46-47			
15	招待状への返事 宿泊について尋ねる	P48-51			
16	理由を話す	P52-53			
17	理由を話す	P54-55			
18	方向/やり方をお教える	P56-59			
19	問題を解決する 状況の説明をする	P60-61			
20	問題を解決する 状況の説明をする	P62-63			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%		読解力の基礎を高めるために積極的に学ぶこと。短文・長文の素早い理解、解答をできるようになること。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	リーディングI				
担当教員	ペルベルシ マルタ	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEIC得点アップに必要なリーディング力、ライティング力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 570				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th edition Level 2 Writing for the Real World Level 1				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	復習2	P64-66			
2	復習2	P67-70			
3	説明する	P70-71			
4	説明する	P72-73			
5	意見発表	P74-75			
6	何かを勧める	P76-77			
7	新しい店を勧める	P78-79			
8	商品とサービスの説明をする	P80-81			
9	休暇について書く	P82-83			
10	休暇について書く	P84-85			
11	～が起きた時何していた？	P86-89			
12	自分の興味ある物について書く	P90-91			
13	自分の興味ある物について書く	P92-93			
14	仕事を応募する	P94-97			
15	申請書を書く	P98-99			
16	復習3	P100-101			
17	復習3	P102-103			
18	復習3	P104-105			
19	総復習	テスト準備			
20	総復習	テスト準備			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		読解力の基礎を高めるために積極的に学ぶこと。短文・長文の素早い理解、解答をできるようになること。			
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	Grammar I				
担当教員	ペルベルシ マルタ	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICの得点アップすることでグローバルビジネスに役立つ英語力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 570				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Basic Grammae in Use				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	BE動詞、BE動詞の質問、現在進行形	U1, U2, U3 P2-7			
2	現在進行形の質問、動詞の原形	U4, U5, U6 P8-13			
3	原形の質問、現在進行形、原形	U7, U8, U9 P14-19			
4	BE動詞と動詞の過去形、過去形の否定形と質問	U10, U11, U12 P20-25			
5	過去進行形、過去形	U13, U14, U15 P26-31			
6	復習1	U1-U15 P2-31			
7	～をしたことがある? どれくらいの間～をした? ～の間～から～前	U16, U17, U18 P32-37			
8	現在完了形、過去形 (今、すでに、まだ)	U19, U20, U21 P38-43			
9	Be/have/do の原形と過去形	U22, U23, U24 P44-49			
10	復習2	U16-U24 P32-49			
11	規則動詞と不規則動詞、未来の予定	U25, U26, U27 P50-55			
12	Will1, Will2, Might ーだろう	U28, U29, U30 P56-61			
13	復習3	U25-U30 P50-61			
14	CanとCould (出来る、出来ていた) MustとShould (～すべき)	U31, U32, U33 P62-67			
15	I have to.. (～をしないとイケない) Would you like..? (～はどう?) ーがいい、ーのほうがいい	U34, U35, U36 P68-73			
16	命令形 ーがある (現在形、過去形、未来形)	U37, U38, U39 P74-79			
17	復習4	U31-U39 P62-79			
18	原形、原形の質問	U40, U41, U42 P80-85			
19	合意する、否定する	U43, U44, U45 P86-91			
20	復習5	U40-U45 P80-91			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%		基礎文法を積極的に学び、TOEICで活かすこと。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	Grammar I				
担当教員	ベルベルシ マルタ	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICの得点アップすることでグローバルビジネスに役立つ英語力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 570				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Basic Grammae in Use				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	WHQ 原形と過去形	U46, U47, U48 P92-97			
2	どれくらいわかりますか？ ~はどこかしていますか？ 質問に対する回答。	U49, U50, U51 P98-103			
3	原形と現在進行形 ~をしたい。あなたに~をして欲しい。 あなたに~をするように言った。	U52, U53, U54 P104-109			
4	~をするために~へ行く/行った/行っている	U55, U56, U57 P110-115			
5	復習1	U46-U57 P92-115			
6	人称代名詞(目的格) 私 / 私を 彼 / 彼を 彼ら / 彼らを	U58, U59, U60 P116-121			
7	誰の？ 私の/彼の/彼女の など。。	U61, U62, U63 P122-127			
8	再帰代名詞 私自身/あなた自身など。。 (ケイトのカメラ、兄の車)など。。	U64, U65, U66 p128-133			
9	復習2	U58-U66 P116-133			
10	単数と複数 可算と不可算	U67, U68, U69 P134-139			
11	冠詞の使い方	U70, U71, U72 P140-145			
12	テスト/音楽 冠詞+(場所の名前)	U73, U74, U75 P146-151			
13	指示代名詞 (単数/複数) これ/それ/これら/それら	U73, U74, U75 P146-151			
14	復習3	U67-U75 P134-151			
15	物の量の表し方	U76, U77, U78 P152-157			
16	誰か(誰でも)/何か(なんでも) 誰も/何も	U79, U80, U81 P158-163			
17	量の表し方 Both, either, neither, a lot, much, many	U82, U83, U84 P164-169			
18	小さい/少し 古い/良い/面白い/素早く/悪く/急に	U85, U86, U87 P170-175			
19	比較級形容詞/副詞	U88, U89, U90 P176-181			
20	まとめ	総まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%		基礎文法を積極的に学び、TOEICで活かすこと。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で3年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ボキャブラリー				
担当教員	ティックナー マーク	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEIC得点アップに必要な単語力・フレーズ力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 570				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P68-70 会う			
2	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P71-73 謝る			
3	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P74-76 クライアント / ログオン			
4	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P77-79 リード セッション / 置換			
5	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P80-82 市場 / 小売店			
6	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P83-85 協定 / 人の方法			
7	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P86-90 実験 / 繊細 / ストレージ			
8	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P91-96 クルー / 結合 / 進む ハンドアウト			
9	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P97-103 注意を払う/への代わりに/運賃			
10	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P104-110 ハイライト/入手可能/最近			
11	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P111-116 チャリティー/起こる/研究所(学院)			
12	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P117-120 公共/ 配置/			
13	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P121-125 カテリング			
14	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P126-128 〜を利用して			
15	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P129-131 〜を不思議に思う/特別な			
16	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P132-135 説明する/ 意見/ 住宅(在住)			
17	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P136-138 近づく(今度の)/ディレクター/気づく			
18	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P139-141 〜を光栄に思う/受け取る/実際は			
19	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P142-144 〜を参考に/現れる/編集者の/伝説的な/ 会員			
20	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P145-147 Enroll/ 割り当てる/状況/支払い/時期/職員			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%		TOEIC頻出単語力とフレーズ力を身につけるために積極的に学ぶこと。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ボキャブラリー				
担当教員	ティックナー マーク	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEIC得点アップに必要な単語力・フレーズ力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 570				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P150-161 電話/メッセージ/リスニング①			
2	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P150-161 電話/メッセージ/リスニング②			
3	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P150-161 電話/メッセージ/リスニング③			
4	復習1	P150-161			
5	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P162-177 発表/報告/リスニング①			
6	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P162-177 発表/報告/リスニング②			
7	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P162-177 発表/報告/リスニング③			
8	復習2	P162-177			
9	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P178-189 ニュース/ラジオ/リスニング①			
10	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P178-189 ニュース/ラジオ/リスニング②			
11	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P178-189 ニュース/ラジオ/リスニング③			
12	復習3	P178-189			
13	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P190-229 話す/リスニング			
14	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P190-229 話す/リスニング			
15	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P190-229 話す/リスニング			
16	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P190-229 話す/リスニング			
17	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P190-229 話す/リスニング			
18	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P190-229 話す/リスニング			
19	復習4	P190-229			
20	まとめ	総まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%		TOEIC頻出単語力とフレーズ力を身につけるために積極的に学ぶこと。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				



国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	TOEIC I				
担当教員	ティックナー マーク		実務授業の有無	○	
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICの得点アップすることでグローバルビジネスに役立つ英語力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 570				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Tactics for the TOEIC test Listening and Reading Test Introductory Course				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法、攻略の練習		P9~14 (ユニット1)		
2	自然な発音の理解、語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法		P15~16 (ユニット1)		
3	自然な発音の理解、語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法		P17~19 (ユニット1、ユニット2)、ミニテスト		
4	語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法、攻略の練習、自然な発音の理解		P20~25 (ユニット2)		
5	復習1		P9~25 (ユニット1、ユニット2)		
6	語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法、攻略の練習		P26~32 (ユニット3)、ミニテスト		
7	語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法、攻略の練習、自然な発音の理解		P33~38 (ユニット4)		
8	語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法		P39~44 (ユニット5)、ミニテスト、文法練習問題		
9	復習2		P26~44 (ユニット3、ユニット4、ユニット5)		
10	語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法		P45~50 (ユニット6)		
11	言語の構成、文法の練習、語彙		P51~56 (ユニット6、ユニット7)、ミニテスト		
12	語彙、TOEICテストの攻略法		P57~62 (ユニット7)、ミニテスト		
13	語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法		P63~68 (ユニット7、ユニット8)		
14	語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法		P69~74 (ユニット8、ユニット9)、ミニテスト		
15	語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法、攻略の練習、自然な発音の理解		P75~79 (ユニット9)、ミニテスト		
16	復習3		P45~79 (ユニット6、ユニット7、ユニット8、ユニット9)		
17	語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法、攻略の練習、自然な発音の理解		P80~86 (ユニット10)		
18	語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法、攻略の練習、自然な発音の理解		P87~92 (ユニット11)、ミニテスト		
19	語彙、言語の構成、TOEICテストの攻略法、攻略の練習		P93~98 (ユニット12)		
20	復習4		P80~98 (ユニット10、ユニット11、ユニット12)		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%			TOEICに関する対策や知識を伸ばすために積極的に学ぶこと。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	TOEIC I				
担当教員	ティクナー マーク		実務授業の有無	○	
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICの得点アップすることでグローバルビジネスに役立つ英語力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 570				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Tactics for the TOEIC test Listening and Reading Test Introductory Course				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	言語の構成、文法・語彙練習		P99～104 (ユニット12、ユニット13)、ミニテスト		
2	TOEICテストの攻略法、語彙、言語の構成、文法練習		P104～109 (ユニット13)		
3	語彙、TORICテストの攻略法		P110～115 (ユニット13、ユニット14)		
4	語彙、TORICテストの攻略法		P116～121 (ユニット14)		
5	復習5		P99～121 (ユニット12、ユニット13、ユニット14)		
6	リスニング・リーディングパート復習テスト		P122～131		
7	リスニング・リーディングパート復習テスト		P132～141		
8	リスニング・リーディングパート復習テスト		P142～153		
9	リスニングパートテスト		練習問題集P4～8		
10	リスニングパートテスト		練習問題集P9～13		
11	リスニング・ライティングテスト		練習問題集P14～16		
12	リスニング・ライティングテスト		練習問題集P17～19		
13	ライティングテスト		練習問題集P26～32		
14	ライティングテスト		練習問題集P33～37		
15	ライティングテスト		練習問題集P38～41		
16	ライティングテスト		練習問題集P42～44		
17	ライティングテスト		練習問題集P45～47		
18	総復習		テスト準備		
19	総復習		テスト準備		
20	まとめ		総まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			TOEICに関する対策や知識を伸ばすために積極的に学ぶこと。		
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

科目名		色彩学			
担当教員	渡邊 津多子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩検定3級・パーソナルカラー検定モジュール1の検定取得を目指し、色彩に関する知識を習得する。演習でのワークシート作成で、色を見分ける力を養う。				
学習目標 (到達目標)	色彩検定3級合格・パーソナルカラーモジュール1合格を目指す。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	色彩検定3級編テキスト・パーソナル検定テキスト・パーソナルカラー配色ワークブック・配色カード・パーソナルカラー配色カード・模擬問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1年間で色彩学を学ぶ内容を説明。自分の好きな色・嫌いな色を考える		演習 配色ワークブックP3.4 色相環・好きな色・配色と嫌いな色・配色を作成する。		
2	色の分類・無彩色・有彩色・色の三属性について(色相・明度・彩度)についての理解		テキストP24～P27・P30・P31		
3	PCCSについての色の三属性(色相・明度・彩度)についての理解 心理四原色・24色相について		テキストP31～P35		
4	PCCSについての色の三属性(色相・明度・彩度)についての理解 トーン表について。トーンの種類の方法を覚える。		テキストP31～P35・小テスト24色相		
5	光と色について 光のエネルギー・電磁波の模式図の解説・太陽とスペクトル・プリズム分光の説明		テキストP6～P8・小テストトーン表		
6	反射・吸収・透過・屈折・干渉・回折・散乱の解説		テキストP9～P12		
7	眼の仕組み。視細胞照明の見え方		テキストP13・P15		
8	照明と色の見え方		テキストP16・P17		
9	混色について解説 加法混色・減法混色		テキストP18～P23		
10	清色・等色相面・色立体・JISについて解説		テキストP28～P29・P33～P35・P40～P41		
11	色の視覚効果・対比とは(色相対比・明度対比・彩度対比・補色対比・縁辺対比)		テキストP48～P51		
12	補色対比・縁辺対比		テキストP52～P53 ワークシート		
13	色の視覚効果・同化とは(色相同化・明度同化・彩度同化)		テキストP54～P57		
14	色彩調和・色相を手掛かりとした配色(同一・隣接・類似)		テキストP62～P69		
15	色彩調和・色相を手掛かりとした配色(中差・対照・補色)		テキストP70～P75		
16	色彩調和・トーンを手掛かりとした配色		テキストP76～P81		
17	セパレーション・アクセント・グラデーション		テキストP82～P87		
18	色彩心理・色の心理的效果について・色の知覚的效果について		テキストP42～P47		
19	色彩心理・色の心理的效果について・色の知覚的效果について		テキストP58～P61		
20	復習・まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、ワークシート30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			色彩学で学んだことをしっかりと認識して検定に臨むこと。全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。ワークシートに不備がある場合再提出とする。		
実務経験教員の経歴	教員16年				

科目名	色彩学				
担当教員	渡邊 津多子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩検定3級・パーソナルカラー検定モジュール1の検定取得を目指し、色彩に関する知識を習得する。演習でのワークシート作成で、色を見分ける力を養う。				
学習目標 (到達目標)	色彩検定3級合格・パーソナルカラーモジュール1合格を目指す。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	色彩検定3級編テキスト・パーソナル検定テキスト・パーソナルカラー配色ワークブック・配色カード・パーソナルカラー配色カード・模擬問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	色彩効果・色彩と構成について		テキストP90～93		
2	色彩と生活・生活環境と色彩・ファッションとは・ファッションと色彩		テキストP94～P105		
3	インテリア・インテリアと色彩・インテリアのカラーコーディネート		テキストP106～P111		
4	検定対策		模擬問題テスト・解説		
5	検定対策		模擬問題テスト・解説		
6	検定対策		模擬問題テスト・解説		
7	検定対策		模擬問題テスト・解説		
8	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
9	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
10	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
11	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
12	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
13	パーソナルカラードレープ実習①		実習 ドレープで肌色診断		
14	パーソナルカラードレープ実習②		実習 ドレープで肌色診断		
15	パーソナルカラードレープ実習③		実習 ドレープで肌色診断		
16	配色①(2級テキスト) ナチュラル・コンプレックス・トーンオントーン・トーンイントーン・ドミナント(カラー・トーン)		演習 ワークシートでにて配色を理解		
17	配色①(2級テキスト) ナチュラル・コンプレックス・トーンオントーン・トーンイントーン・ドミナント(カラー・トーン)		演習 ワークシートでにて配色を理解		
18	配色①(2級テキスト) トーナル配色・ピコロール・ロリコロール		演習 ワークシートでにて配色を理解		
19	配色①(2級テキスト) トーナル配色・ピコロール・ロリコロール		演習 ワークシートでにて配色を理解		
20	まとめ		後期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験40%、レポート25%、実技試験25%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			色彩学で学んだことをしっかりと認識して検定に臨むこと。全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。ワークシートに不備がある場合再提出とする。		
実務経験教員の経歴	教員16年				

科目名	ファッション史				
担当教員	服部 円	実務授業の有無	×		
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッションの流行の変遷だけでなく、社会情勢や習慣の変化、価値観の変化も含めて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ストリートスタイル				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション史 導入		授業の取り組み方について		
2	バロック時代		ドレス、時代について 画像、映画参照		
3	ロココ時代①		ドレス、時代について 画像、CM、映画参照		
4	ロココ時代②～マリーアントワネットの生き方～		ドキュメンタリー参照		
5	新古典主義		ドレス、時代について 画像、映画参照		
6	レポートの書き方について～テーマ選び～		課題説名		
7	レポート発表		グループ毎にプレゼン		
8	1900年代までのドレスまとめ		ドレス、時代についての総まとめ		
9	1910年 女性ファッションと文化		女性ファッションと時代について、価値観の変化 画像、 映画参照		
10	1920年 女性ファッションと文化		女性ファッションと時代について、価値観の変化 画像、 映画参照		
11	1940年代のファッションと文化		戦争中のファッションについて		
12	1940年代のファッションと文化		戦争中のファッションについて		
13	1950年代のファッションと文化		戦後のファッション		
14	1950年代のファッションと文化		戦後のファッション		
15	まとめ小テスト		小テストにて評価		
16	パンクムーブメント		パンクの歴史		
17	80年代ブランドブーム		80年代のブランドについて		
18	90年代バブルファッションについて		90年代のバブルファッション		
19	デニムの歴史		デニムの歴史について		
20	前期試験対策		前期試験範囲の説明・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題 レポート10%、試験 90% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ファッション史を通して、デザインの意味、ルーツ、知識を習得し、デザインする上でのインスパイヤーとなったり、表現の幅を広げるものとする。		
実務経験教員の経歴	外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる				

科目名		ファッション史			
担当教員	服部 円	実務授業の有無	×		
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッションの流行の変遷だけでなく、社会情勢や習慣の変化、価値観の変化も含めて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ストリートスタイル				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1930年～1940年 女性ファッションと文化		ファッション、文化 画像映画参照		
2	1950年 女性ファッションと文化、デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
3	1960年 ファッションと文化 デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
4	1970～1980年 ファッションと文化 デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
5	1990年 ファッションと文化、レポートについて		ファッション、文化について、課題について		
6	ジーンズの歴史		ジーンズのルーツ、日本のジーンズとの関わり		
7	ヒップホップのファッション歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
8	モッズファッションの歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
9	サイケデリックファッションの歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
10	ギャルファッションについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
11	海外ファッションの移り変わりまとめ		ファッション、文化について 画像、映画参照		
12	ココシャネル映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
13	イブサンローラン映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
14	マリーアントワネット映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
15	まとめレポート感想		まとめレポート作成		
16	グランジファッション		ファッション、文化について 画像、映画参照		
17	メイクの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
18	コレクションの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
19	コレクションの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
20	後期試験解説		後期試験範囲の説明・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題 レポート10%、試験 90% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ファッション史を通して、デザインの意味、ルーツ、知識を習得し、デザインする上でのインスパイヤーとなったり、表現の幅を広げるものとする。		
実務経験教員の経歴		外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる			

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅰ(A科目)				
担当教員	服部 円		実務授業の有無	○	
対象学科	スタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅠA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3 / ファッション販売能力検定試験問題集 3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション販売知識①、②		教科書 p8~p11 過去問題演習		
2	ファッション販売知識③		教科書 p12~p14 過去問題演習		
3	ファッション販売知識④、⑤		教科書 p15~p16 過去問題演習		
4	ファッション販売知識⑥		教科書 p17~p18 過去問題演習		
5	ファッション販売技術①		教科書 p20~p31 過去問題演習		
6	ファッション販売技術②		教科書 p32~p33 過去問題演習		
7	ファッション販売技術③		教科書 p34~p36 過去問題演習		
8	ファッション販売技術④		教科書 p37~p40 過去問題演習		
9	ファッション販売技術⑤		教科書 p41~p43 過去問題演習		
10	ファッション販売技術⑥		教科書 p44~p45 過去問題演習		
11	マーケティング①		教科書 p174~p181 過去問題演習		
12	マーケティング②		教科書 p182~p186 過去問題演習		
13	マーケティング②		教科書 p186~p191 過去問題演習		
14	マーケティング③		教科書 p192~p197 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅰ(A科目)				
担当教員	服部 円		実務授業の有無	○	
対象学科	スタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅠA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3 / ファッション販売能力検定試験問題集 3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	A科目過去問題①		第42回 過去問題A科目試験形式及び解答		
2	A科目過去問題①		第42回 過去問題A科目 解説・振り返り		
3	A科目過去問題②		第41回 過去問題A科目試験形式及び解答		
4	A科目過去問題②		第41回 過去問題A科目 解説・振り返り		
5	A科目過去問題③		第40回 過去問題A科目試験形式及び解答		
6	A科目過去問題③		第40回 過去問題A科目 解説・振り返り		
7	A科目過去問題④		第39回 過去問題A科目試験形式及び解答		
8	A科目過去問題④		第39回 過去問題A科目 解説・振り返り		
9	A科目過去問題⑤		第38回 過去問題A科目試験形式及び解答		
10	A科目過去問題⑤		第38回 過去問題A科目 解説・振り返り		
11	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題A科目試験形式及び解答		
12	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題A科目 解説・振り返り		
13	A科目過去問題⑦		第36回 過去問題A科目試験形式及び解答		
14	A科目過去問題⑦		第36回 過去問題A科目 解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる				



科目名	パソコン実習				
担当教員	瀬尾 明子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科、 ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.テキストを使用した講義 2.パソコンを使用した演習 3.過去問題の実施				
学習目標 (到達目標)	ワード検定3級取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パソコン・Wordクイックマスター基本編・Word過去問題試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ワードの基本		起動から終了までP2～P19 演習P20		
2	編集の基本操作		新規文書の作成から文字入力P22～40		
3	編集の基本操作		P41～51 演習P52		
4	文書の編集①		書式設定～・網掛けP54～60		
5	文書の編集②		P61～83 演習P84		
6	文書の印刷設定①		改ページから印刷の実行P86～97 演習P98		
7	文書の作成②		あいさつ文からビジネス文書の作成P100～110		
8	文書の作成③		P111～121		
9	文書の作成④		P122～131 演習P132		
10	表の作成①		作成から装飾P134～145		
11	表の作成②		P146～165 演習P166		
12	図形や画像①		ワードアートからアイコンの挿入P168～179		
13	図形や画像②		P180～190		
14	図形や画像③		P191～201 演習P202		
15	総合学習問題		テキストP204～208		
16	検定対策		過去模擬問題①		
17	検定対策		過去模擬問題②		
18	検定対策		過去模擬問題③		
19	検定対策		過去模擬問題④		
20	検定対策		過去模擬問題⑤		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内テスト評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキスト・問題集・パソコンは必ず持参すること		
実務経験教員の経歴	英文タイプ、ビジネス文書、COBOL実習やワープロ検定などで23年実務経験あり				

科目名	パソコン実習				
担当教員	瀬尾 明子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科、 ブライダルコスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.テキストを使用した講義 2.パソコンを使用した演習 3.過去問題の実施				
学習目標 (到達目標)	エクセル検定3級取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パソコン・Excelクイックマスター基本編・Excel過去問題試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	エクセルの基本		起動から終了P2～20 演習P21, 22		
2	データの編集		新規ブックから保存P24～54		
3	データの編集		演習P55, 56		
4	表の編集		罫線から行・列の挿入P58～82		
5	表の編集		演習P83, 84		
6	ブックの印刷		表示モードから印刷範囲P86～100 演習P101, 102		
7	グラフと図形		グラフと図形の作成P104～138		
8	グラフと図形		演習P139, 140		
9	ブックの利用と管理		ワークシートの管理、ウィンドウの操作P142～P153		
10	ブックの利用と管理		演習P154, 155		
11	関数		統計から日付P158～188		
12	関数		演習P189, 190		
13	データベース機能		リスト作成からテーブル機能P192～210		
14	データベース機能		演習P211, 212		
15	総合学習問題		テキストP214～217		
16	検定対策		過去模擬問題①		
17	検定対策		過去模擬問題②		
18	検定対策		過去模擬問題③		
19	検定対策		過去模擬問題④		
20	検定対策		過去模擬問題⑤		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内テスト評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキスト・問題集・パソコンは必ず持参すること		
実務経験教員の経歴	英文タイプ、ビジネス文書、COBOL実習やワープロ検定などで23年実務経験あり				

科目名	VMD I				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業概要、目的、 授業の進め方	商品のディスプレイを実際に学び、什器の名称、並べ方や陳列方法を学ぶ商品をより魅力的に見せる見せ方を学んでいく。実際の什器を用いて実習を行いレイアウト、使用方法等を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	基本陳列、什器の種類の理解。商品ケア方法の習得。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	よくわかる色とディスプレイ (教材)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動機付け、VMDとは？VMDの3要素について。		授業ルール配布、VMDの3要素についてプリント配布、講義。		
2	陳列方法講義、実践		陳列のルールプリント配布、講義、実践。 よくわかる色とディスプレイ (62P~69P)		
3	6構成 (講義→リサーチ→レポート)、三角構成、VP.PPIP店舗レポート		6構成についてのワークシート配布。ショッピングリサーチ実施、レポート作成		
4	オフィスアート [プランニング] オフィスアート [提出シート作成]		オフィスアートプランニング、シート作成 (提出用)		
5	オフィスアート [完成、書類作成、提出]		オフィスアート用書類作成、提出。		
6	三角構成 [プランニング]		三角構成プランニング用ワークシート配布		
7	三角構成 [実制作]		PCを使用して三角構成の制作。		
8	三角構成 [撮影]		制作後撮影実施。プレゼン		
9	三角構成 [発表、まとめ]		先週作成した作品の発表とまとめプリント配布。		
10	Tシャツを使って思わず欲しくなるようなディスプレイ [プランニング、シート作製] 1		ディスプレイプランのワークシート配布。		
11	Tシャツを使って思わず欲しくなるようなディスプレイ [プランニング、シート作製] 2		ディスプレイプランのワークシート配布。シート作成		
12	Tシャツディスプレイ [プレゼン]		ディスプレイ企画 プレゼン		
13	Tシャツディスプレイ [プレゼン]		ディスプレイ企画 プレゼン		
14	Tシャツディスプレイ [実制作、撮影]		ワークシート制作、撮影		
15	万代リサーチ		万代リサーチ実施。その後レポート提出。		
16	万代リサーチ		万代リサーチ実施。その後レポート提出。		
17	店舗運営について講義。FB 2 から引継ぎ。		店舗運営についての講義。2年生よりSHOP内容引継ぎ。		
18	まとめ、季節ごとのVMDイベント		まとめのプリント配布。季節によるVMDイベントの解説		
19	まとめ、テスト実施		まとめのプリントからテスト実施。		
20	テスト解説		テスト返却と解説。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出 100% 点数基準 課題：授業意欲 = 80 : 20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減 (±5点) あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)			A4ファイル、ノート (ルーズリーフでも可) 用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	VMD I				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業概要、目的、 授業の進め方	「見やすい、選びやすい、買いやすい」売り場の作成を実習で行い学んでいく。 商品自体を魅力的に見せるために商品ケアや着せ付け方を学んで店舗運営につなげていく授業。				
学習目標 (到達目標)	基本陳列、什器の種類を理解。商品ケア方法の習得。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	よくわかる色とディスプレイ (教材)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ハロウィンディスプレイ[プランニング]		ハロウィンに向けたディスプレイプランをチームで企画しパワーポイントで作成。		
2	ハロウィンディスプレイプラン プレゼン、修正		企画のプレゼンを実施し採用企画を修正。		
3	ハロウィンディスプレイプラン 買い出し 実制作		採用企画を買い出し班と準備班に分けて実制作に移る。		
4	ディスプレイルームへハロウィンディスプレイ作成。		ディスプレイルームへディスプレイ展示。		
5	X'masディスプレイ プランニング		X'masのディスプレイプランをチームで企画しパワーポイントで作成。		
6	X'masディスプレイ プレゼン、修正		企画のプレゼンを実施し採用企画を決めて修正を実施。		
7	X'masディスプレイ 買い出し		買い出し実施。		
8	X'masディスプレイ 買い出し、実制作		買い出し班と準備班に分かれて実制作へ移る。		
9	VMDにおける色の重要性とは? 実践		色の重要性についてワークシート作成、撮影。		
10	VMDにおける色の重要性とは? 講義		色の重要性について講義、ワークシート配布		
11	VMDにおける色の重要性とは? 実践		色の重要性についてワークシート作成、撮影。		
12	アイテムケアについて1		衣類などのケア方法、洗濯について講義。		
13	アイテムケアについて2		革物のケアについて講義、実践。		
14	ネクタイの結び方 講義、実践		ネクタイの結び方の種類、テクニック講義、実践		
15	バイイングに向けた準備、講義。		バイイングについての講義。		
16	1年間のまとめ、1年次最終課題制作。		1年間のまとめプリント配布。1年間で学んだことを活かしてテーマを決めて課題制作実施。		
17	課題制作 (プレゼン実施)		課題制作。プレゼン実施。		
18	課題制作 (プレゼン実施)		課題制作。プレゼン実施。		
19	課題制作 実制作、買い出し		課題制作。買い出し実施、実制作		
20	課題制作 撮影、ディスプレイ		課題制作。撮影、ディスプレイ作成。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)			A4ファイル、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名						ファッション販売能力検定対策Ⅰ(B科目)					
担当教員		服部 円		実務授業の有無		○					
対象学科		スタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科		対象学年		1		開講時期		前期	
必修・選択		必修		単位数		2		時間数		40時間	
授業概要、目的、 授業の進め方		1.ファッション販売能力検定ⅠB科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャンダイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習									
学習目標 (到達目標)		ファッション販売能力検定3級B科目の合格レベルの習得									
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		ファッション販売3 / ファッション販売能力検定試験問題集 3級									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	商品知識①					教科書 p 46～ p 75 過去問題演習					
2	商品知識②					教科書 p 76～ p 81 過去問題演習					
3	商品知識③					教科書 p 82～ p 93 過去問題演習					
4	商品知識④					教科書 p 94～ p 101 過去問題演習					
5	商品知識⑤					教科書 p 102～ p 105 過去問題演習					
6	商品知識⑥					教科書 p 106～ p 117 過去問題演習					
7	商品知識⑦、⑧					教科書 p 118～ p 135 過去問題演習					
8	商品知識⑨、⑩、⑪					教科書 p 136～ p 151 過去問題演習					
9	売り場づくり①					教科書 p 152～ p 159 過去問題演習					
10	売り場づくり②					教科書 p 160～ p 167 過去問題演習					
11	売り場づくり②					教科書 p 168～ p 173 過去問題演習					
12	販売スタッフの業務①、②					教科書 p 198～ p 204 過去問題演習					
13	販売スタッフの業務③、④					教科書 p 205～ p 209 過去問題演習					
14	販売スタッフの業務⑤					教科書 p 210～ p 213 過去問題演習					
15	試験対策					模擬テスト					
16	試験対策					模擬問題解答・解説					
17	試験対策					模擬テスト					
18	試験対策					模擬問題解答・解説					
19	前期試験					前期試験					
20	前期試験解答・解説					解答・解説					
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
試験評価 100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。						教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること					
実務経験教員の経歴		外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる									

ファッション販売能力検定対策Ⅰ(B科目)					
科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅰ(B科目)				
担当教員	服部 円		実務授業の有無	○	
対象学科	スタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅠB科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャンダイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級B科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3／ファッション販売能力検定試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	B科目過去問題①		第42回 過去問題B科目試験形式及び解答		
2	B科目過去問題①		第42回 過去問題B科目 解説・振り返り		
3	B科目過去問題②		第41回 過去問題B科目試験形式及び解答		
4	B科目過去問題②		第41回 過去問題B科目 解説・振り返り		
5	B科目過去問題③		第40回 過去問題B科目試験形式及び解答		
6	B科目過去問題③		第40回 過去問題B科目 解説・振り返り		
7	B科目過去問題④		第39回 過去問題B科目試験形式及び解答		
8	B科目過去問題④		第39回 過去問題B科目 解説・振り返り		
9	B科目過去問題⑤		第38回 過去問題B科目試験形式及び解答		
10	B科目過去問題⑤		第38回 過去問題B科目 解説・振り返り		
11	B科目過去問題⑥		第37回 過去問題B科目試験形式及び解答		
12	B科目過去問題⑥		第37回 過去問題B科目 解説・振り返り		
13	B科目過去問題⑦		第36回 過去問題B科目試験形式及び解答		
14	B科目過去問題⑦		第36回 過去問題B科目 解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる				

科目名	就職実務 I				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 プライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の基本的なマナーを学ぶ 2、企業研究の方法を知る 3、自己研究を深め面接に活かす				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	実践行動学 1 第1章		実践行動学をつかった意識付け授業第1章を行う		
2	実践行動学 1 第2章		実践行動学をつかった意識付け授業第2章を行う		
3	実践行動学 1 第3章		実践行動学をつかった意識付け授業第3章を行う		
4	バイトとフリーターの違い。働くということ		アルバイトやフリーターの違いや働く意義について		
5	効果的な自己PRの方法		プレゼンテーション面接でのコツ		
6	就職マナー指導研修 挨拶・電話・言葉使い		挨拶・マナー・言葉使い指導		
7	履歴書を書いてみよう。注意点を説明(宿題)プリント配布		履歴書の書き方、評価のポイントなどについて指導		
8	自己分析PRを考える。効果的な自己プレゼンテーション		自己PRを考える。過去の自分の振り返り		
9	アパレル業界の仕組み職業理解を深める		アパレル業界の職種について解説		
10	企業研究の方法・手段について		企業研究の方法や手段について学ぶ		
11	エントリーシート対策		複雑化するエントリーシートを実際に記入してみる		
12	インターンシップ・就職研修のいろいろ		インターンシップのマナー・就職研修について解説		
13	企業へのアポイントの取り方(訪問の方法)		企業様への訪問のマナーやルール		
14	企業へのアポイントの方法(電話・メールでのマナー)		企業様への電話やメールでの問い合わせ方法を学ぶ		
15	自己分析PRを考える。		自己PR文章制作		
16	自己分析PRを考える。		自己PR文章制作		
17	実践行動学 1 第4章		実践行動学をつかった意識付け授業第4章を行う		
18	実践行動学 1 第5章		実践行動学をつかった意識付け授業第5章を行う		
19	スーツ着こなし講座(男女別)		リクルースタイルの着こなしについて		
20	人事講演会		大手アパレル人事担当者の特別講演会		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
面接評価・履歴書や自己PR文章での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年				

科目名	就職実務 I				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の基本的なマナーを学ぶ 2、企業研究の方法を知る 3、自己研究を深め面接に活かす				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	就職活動の手段・方法についてPCでエントリーしてみる。活動の心構え		エントリーとは		
2	実践行動学2 第1章		実践行動学をつかった意識付け授業第1章を行う		
3	実践行動学2 第2章		実践行動学をつかった意識付け授業第2章を行う		
4	実践行動学2 第3章		実践行動学をつかった意識付け授業第3章を行う		
5	コミュニケーション検定対策1		コミュニケーション検定対策授業		
6	コミュニケーション検定対策2		コミュニケーション検定対策授業		
7	コミュニケーション検定対策3		コミュニケーション検定対策授業		
8	コミュニケーション検定対策4		コミュニケーション検定対策授業		
9	コミュニケーション検定対策5		コミュニケーション検定対策授業		
10	合同企業ガイダンスについて		合同企業ガイダンスについて解説		
11	OBOG訪問について		OBOG訪問でのマナー		
12	グループディスカッション対策		グループディスカッション対策		
13	実践行動学2 第4章		実践行動学をつかった意識付け授業第4章を行う		
14	実践行動学2 第5章		実践行動学をつかった意識付け授業第5章を行う		
15	女子メイク講座① 男子面接練習①		女子リクルートメイク講座・男子面接練習		
16	女子メイク講座② 男子面接練習②		女子リクルートメイク講座・男子面接練習		
17	内定者からの話		先輩の内定者座談会を開催。就職での苦労点など		
18	就職研修宿泊予定		就職のための合宿予定		
19	求職登録面接		学内面接会開催		
20	就職実務・保護者との3者面談情報の共有について		3者面談での企業研究の方法		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
面接評価・履歴書や自己PR文章での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年				



科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科、 プライダルコスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アメリカ・ロサンゼルスについて①		スライド資料で都市の見所講義		
2	アメリカ・ロサンゼルスについて②		スライド資料で都市の研修内容講義		
3	韓国・ソウルについて①		スライド資料で都市の見所講義		
4	韓国・ソウルについて②		スライド資料で都市の研修内容講義		
5	イタリア・ローマについて		スライド資料で都市の研修内容講義		
6	イタリア・フィレンツェについて①		スライド資料で都市の見所講義		
7	イタリア・フィレンツェについて②		スライド資料で都市の研修内容講義		
8	イタリア・フィレンツェについて③		スライド資料で都市の研修内容講義		
9	イタリア・ミラノについて		スライド資料で都市の研修内容講義		
10	アメリカブランドの歴史		アメリカを代表するブランド講義		
11	イタリアブランドの歴史		イタリアを代表するブランド講義		
12	フランスブランドの歴史		フランスを代表するブランド講義		
13	フランス・パリについて①		スライド資料で都市の見所講義		
14	フランス・パリについて②		スライド資料で都市の研修内容講義		
15	アメリカの歴史・治安		スライド資料で国の歴史・お国柄講義		
16	韓国の歴史・治安		スライド資料で国の歴史・お国柄講義		
17	イタリアの歴史・治安		スライド資料で国の歴史・お国柄講義		
18	フランスの歴史・治安		スライド資料で国の歴史・お国柄講義		
19	コース選択とりまとめ		コース選択集計		
20	パリコースとりまとめ		パリコース希望者レポート提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：参加申込書 授業態度：100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各国、各都市の特徴、歴史をよく理解し、意欲的な姿勢で授業に臨むこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科、 プライダルコスチュームデザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パスポートについて		パスポート取得方法の講義・パスポートの重要性講義		
2	クレジットカードについて		アメリカESTAの講義・クレジットカードの役割について		
3	ロサンゼルス研修企業について①		研修先企業研究講義①		
4	ロサンゼルス研修企業について②		研修先企業研究講義②		
5	ヨーロッパ研修企業について①		研修先企業研究講義①		
6	ヨーロッパ研修企業について②		研修先企業研究講義②		
7	保険・準備物について①		海外旅行保険・レンタル品等の説明		
8	保険・準備物について②		保険・レンタル品申込み集計		
9	オプションツアーについて①		ツアー内容紹介		
10	オプションツアーについて②		ツアー決定・集金・とりまとめ		
11	お金について①		両替・為替の説明・講義		
12	お金について②		両替・為替の説明・講義		
13	防犯について①		治安と荷物管理・服装・行動について講義		
14	防犯について②		服装・荷物の確認・チェック		
15	防犯について③		過去の事例紹介		
16	研修中注意事項①		海外でのマナー・ルールについてチェックリストで講義		
17	研修中注意事項②		海外でのマナー・ルールについてチェックリストで講義		
18	出発前の最終注意事項		チェックリストの配布・機内持ち込みの説明		
19	研修期間①		海外研修期間		
20	研修期間②		レポート提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：研修後レポート 授業態度：研修後レポート80% 授業態度(研修態度)20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			セキュリティや治安をよく理解し、協力的な団体活動を行うこと 研修先では前向きで意欲的に学ぶこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				